

News Clip & AV Material

◆ ニュースクリップ&映像教材



■平成24年度教育ICT活用実践発表会開催される

平成25年3月13日（水）、文部科学省東館3階講堂において標記発表会が開催された。講演、模擬授業、実践発表、ポスターセッション、パネルディスカッション等が行われた。併設のICT教材・機材体験展示会には、25社による体験展示・デモンストレーションが実施され、来場者は670名となった（写真）。なお、本発表会は札幌（展示22社・来場者235名）、大阪（同24社・440名）、福岡（同23社・343名）の3会場においても開催され、合計参加者数は1,688名にのぼった。詳細は、本誌14頁を参照のこと。

文部科学省情報

■ 子どもの読書活動推進フォーラム

子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めることを目的に、文部科学省主催による標記フォーラムが開催される。

〈日時〉 平成25年4月23日（火）13:00～16:15（閉会予定）

〈会場〉 国立オリンピック記念青少年総合センターカルチャー棟大ホール（東京都渋谷区代々木神園町3-1）

〈内容〉 基調講演「子どもの頃の読書は、豊かな人生の第1歩」島田洋七氏（漫才師）、事例発表・表彰等。事前申し込み。定員になり次第締切。詳細は、下記を参照のこと。

<https://www.secure-3ssl.com/dokusho/>

〈問い合わせ〉（独）国立青少年教育振興機構教育事業部事業課

TEL 03-6407-7686（受付時間9:30～17:00 土日・祝日を除く）

AV情報

■ 第32回宇宙科学講演と映画の会

独立行政法人宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所では、宇宙科学についての理解を深めることを目的に、標記講演と映画の会を開催する。

〈日時〉 平成25年4月13日（土）13:30～17:10
〈会場〉 四谷区民センター（東京都新宿区内藤町87区民センター9F）

〈内容〉 講演「未来を拓くイプシロンロケットの挑戦」、映画「観測ロケット」等。

詳細は、下記を参照のこと。http://www.isas.jaxa.jp/j/topics/event/2013/0413_kouen.shtml

〈問い合わせ先〉 宇宙科学研究所広報・普及係
TEL 042-759-8008

■ 第25回すかがわ国際短編映画祭開催

すかがわ国際短編映画祭実行委員会主催により、標記映画祭が開催される。

〈日程〉 平成25年5月10日（金）～12日（日）
〈会場〉 須賀川市文化センター（福島県須賀川市

牛袋町11)

〈内容〉ドキュメンタリーやドラマ、アニメーション作品上映、ゲストトーク等。詳細は、下記を参照のこと。<http://yagi-building.com/sisff/>
〈問い合わせ先〉すかがわ国際短編映画祭事務局
須賀川市教育委員会文化・スポーツ課内
TEL 0248-88-9172

研究会情報

■ 日本アーカイブズ学会 2013年度大会

日本アーカイブズ学会では、標記年度大会を開催する。

〈日時〉平成25年4月20日(土) 13:30～、21日(日) 10:00～両日ともに16:30まで。

〈会場〉学習院大学北1号館(東京都豊島区目白1-5-1)

〈内容〉記念講演会、自由論題研究発表会「諸外国における議会公文書館の設置及び法令等の制定に関する現状と課題」、企画研究会『放射線データアーカイブズの構築に向けて』等。詳細は、下記を参照のこと。<http://www.jsas.info/>

〈問い合わせ先〉日本アーカイブズ学会事務局
Mail office@jsas.info

■ 平成25年度情報教育対応教員研修全国セミナー「Campusセミナー2013in鹿児島」

(一社)日本教育工学振興会では、平成25年度情報教育対応教員研修全国セミナーの一環として、標記研修会を実施する。

〈日時〉平成25年4月20日(土) 10:00～16:00

〈会場〉鹿児島商工会議所ビルアイムビル4F(鹿児島県鹿児島市東千石町1-38)

〈内容〉基調講演「女子バレーのオリンピックメダルに向けた情報戦略」、校務でのICT活用実践例他。詳細は、下記を参照のこと。

http://www.japet.or.jp/mudw6pvti-489/#_489

〈問い合わせ先〉(一社)日本教育工学振興会
TEL 03-5575-5365

文部科学省選定作品

■ 2月選定 紙しばい/ビデオ/DVD

「ぼく くもくもを ひろったよ」紙12枚〈幼稚園・小学校低学年/幼児・教養〉(株)童心社
「生活支援員の仕事」D18分、「日常生活自立支援事業(地域福祉権利擁護事業)」D22分〈高等学校、

福祉/成人、地域社会生活(地域の保健・福祉)〉
東京シネ・ビデオ(株)

「高齢期は食べ盛りー正しい知識で老化を防ぐー」D36分〈青年・成人、家庭生活(食生活)〉(株)放送映画製作所

「犬と猫と人間と2 動物たちの大震災」D104分〈成人、地域社会生活(災害予防・対策)〉合同会社東風

「『インターネット×リアル』より良いコミュニケーションを築いていくために」D88分〈成人、国民生活(メディア)〉千葉県環境生活部県民生活課
「長嶺ヤス子 裸足のフラメンコ」D85分〈成人、教養〉合同会社東風

放送番組

「ティーンズプロジェクト フレ☆フレ」

Eテレ(金) 18:55～19:25 再放送(土) 12:00～12:30※都合により番組内容変更有。
(4月のテーマから) ○「始動!アニメ制作プロジェクト」、○「飛行機制作プロジェクト」、○「より速く!より正確に!7人の速記侍」番組詳細は、下記を参照のこと。<http://www.nhk.or.jp/teens/index.html>

短信

■ 文部科学省生涯学習政策局参事官付の異動

平成25年4月1日付

○専門官 太田知啓氏→初等中等教育局教育課程課課長補佐○ICT環境整備係長 毛利るみこ氏→筑波大学准教授○ICT環境整備係 林里沙氏→原子力規制委員会原子力規制庁安全規制管理官○庶務・メディア係 桐原佳代氏→政策課総務係○専門職(情報教育企画係) 原田敦史氏→山口県教職員課学校管理班管理主事○学習情報係 江口貴理氏→山口大学○国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部研究開発課長 大内克紀氏→専門官○生涯学習推進課専門職(公益法人担当)

川瀬成彦氏→ICT環境整備係長○仙台市 菅原弘一氏→専門職(連携協力担当)○新規採用 杉崎太祐氏→情報教育推進係○佐賀県 丹野到氏→情報教育企画係) ○つくば市 名田雅希氏→学習情報係○新規採用 石川潤氏→教育情報施策調整係○新規採用 平山友美→庶務・メディア係

▶ 文部科学省情報

平成25年度教育の情報化関係予算（案）について

文部科学省生涯学習政策局参事官(学習情報政策担当)付参事官補佐 西條 英吾

平成25年度の文部科学省所管一般会計予算案総額は、5兆3,558億円。

少子高齢化等の社会構造の変化に対応しながら、世界トップレベルの学力と人間力を備えた人材と優れた科学技術によりフロンティアを切り拓き、新しい日本をつくる。このため、「教育再生」の実現、スポーツ・文化芸術の振興、グリーン及びライフ分野を中心とした科学技術の推進に資する施策を未来への先行投資として重点的に予算を計上。

また、引き続き、学校施設の復旧・耐震化や原子力災害からの復興支援など、被災地の要望等を踏まえつつ、震災・原発事故からの早期の復興と国民の「命を守り抜く」防災対策を徹底するために必要な経費を確保した。

生涯学習政策局参事官（学習情報政策担当）における平成25年度予算案の内容は、以下のとおり。

なお、平成25年7月1日付けで参事官（学習情報政策担当）を情報教育課に振り替え、情報教育の推進体制の強化を図る。

●「学びのイノベーション事業」（継続）

21世紀を生きる子どもたちに求められる力を育む教育を実現するために、様々な学校種、発達段階、教科等に応じ、モデルコンテンツの開発や、デジタル教科書・教材、情報端末等を利用した指導方法の開発等の効果・影響を検証するとともに、教員へのサポート体制の在り方を検証するなど総合的な実証研究を行う。

●「ICTを活用した課題解決型教育の推進事業」（新規）

急速な情報化の進展に伴う新たな課題に対応するとともに、学習者による課題発見・解決能力などの重要な能力・スキルの確実な習得を目指すため、デジタル教材等の標準化やICT環境を活用した教員向け指導手引書の作成を行う。

●「教育用コンテンツ奨励事業」（継続）

教育上価値が高く、学校教育又は社会教育における様々な活動の中で利用されることが適当と認められる教育用コンテンツを選定し、その普及・促進を図る。

●「情報教育の推進等に関する調査研究」（継続）

小中学校段階における児童生徒の情報活用能力の育成方策の検討を行い、学習指導の改善を図るとともに、今後必要となる教育課程の検討に資するため、子どもたちの情報活用能力の習熟状況やICTを活用した学習状況について実態調査を実施するとともに、解答プロセスを分析するなど、多角的な分析手法を確立する。

●「被災地におけるICTを活用した学習支援」

【予算事項】

○「学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業」（継続）

学校にICT支援員を配置し、授業において情報通信技術を活用して、不足する教材・教具等を補うことができるよう、教員及び児童生徒の学習活動を支援し、学習環境の改善を図る。

【その他】

○「応急仮設校舎等における電子教材（電子黒板等）を設置する費用を措置」（継続）

応急仮設校舎（間借りを含む）等で当面の間、使用する設備（教材、教具、校具等）に関して、応急仮設校舎等が偏狭であるなどの理由により、被災前の学校において授業で用いていた教材等を設置することができない場合には、新たに電子教材（電子黒板等）を設置する費用を措置する。

（・対象：公立の小中学校・財政措置：2/3国庫補助）

平成25年度教育の情報化関係予算案額

【生涯学習政策局参事官（学習情報政策担当）】（千円）

事業名	平成25年度予算案額
学びのイノベーション事業	257,267
ICTを活用した課題解決型教育の推進事業	161,037
教育用コンテンツ奨励事業	18,368
情報教育の推進等に関する調査研究	37,183
学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業	10,800*
応急仮設校舎等における電子教材（電子黒板等）の設置	公立学校施設災害復旧事業 4,141,376千円の内数

※学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業（1,195,727千円）のメニューとして弾力的に執行